

お友だちとのかかわりに関する本

となりのたぬき【鈴木出版】

(作・絵)せなけいこ

うさぎはとなりのたぬきが大きらい。
たぬきをお月さまがやっつけてくれるというので、ある約束をします。人に親切になれば、人に親切にされる。人を嫌えば、人に嫌われる。人は鏡なのですね。大人も気づかされる1冊です。

青いかいじゅうと赤いかいじゅう【アーニ出版】

(作)ディビッド・マッキー

(文)きたざわきようこ

ほんの少し、育った場所が違っただけなのに、全く価値観が違う2匹はお互いに傷付け合うばかり。そんな2匹でもお互いの立場に立った時に、歩み寄る事ができたのです。進級やクラス替えをした時にお薦めだと思います。

あのとすきになったよ【教育画劇】

(作)薫くみこ (絵)飯野和好

最初は嫌いだった、クラスメートのしっこさん。しかし、色々な出来事を通して〈私〉は少しづつ好感を持ちます。偏見を持っていた友人への気持ちの変化が伝わってきて、大人も引き込まれる絵本です。

ええところ【学研】

(作)くすのきしげのり

(絵)ふるしょうようこ

「わたしって、ええところひとつもないなあ……」でも、ともちゃんはいちちゃんの「ええところ」を、ちゃんと知っているのです。小学1年生のあったかい物語です。

ともだちごっこ【偕成社】

(作)内田麟太郎 (絵)降矢なな

「ともだちや」など「おれたち、ともだち！」シリーズの1冊。高学年の女子間に良くある事が、キツネくん、テン、オオカミの間で起こります。今の自分は、登場人物三人の誰に当てはまるのか？自分ならどうするのか？同じ状況におかれている人にとっては救いになるかも!?

凸凹ぼしものがたり【ひさかたチャイルド】

(作・絵)あんびるやすこ

うちゅうの小さな星に、凸凸国と凹凹国という、2つの国がありました。どちらにすむ人も、よくにいていましたが、手のかたちがちがうだけで、おたがい口もききません。ある日、2つの国のまんなかで事件がおきて……。互いを認めあい、補い助けあうことの大切さを描いたお話。

